

第8回野々市市「図書館を使った調べる学習コンクール」の表彰式について 市教委による補足説明

「本で調べるって楽しい！」

○学びの杜ののいちカレード（野々市市立図書館）の主催で、野々市市教委と野々市市小中学校教育研究会図書館部会との連携協力のもと開催した第8回野々市市「図書館を使った調べる学習コンクール」に応募があった作品の中から優れた作品が表彰される。

- ・例年この「調べる学習コンクール」は夏休みを中心に行われてきたが、今年は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、臨時休業となった4月から市内の小中学生が家庭学習の一つとして取り組んだ。
- ・応募点数は去年の536点から1,437点も増え、過去最高の1,973点となった。上位受賞者の作品は、(公財)図書館振興財団の「図書館を使った調べる学習コンクール」に出品される。
- ・最優秀賞を受賞した富陽小学校6年生の山崎 華花（やまざき はな）さんは、『野々市市の住みやすさ』について本で調べたことをまとめるだけでなく、インタビューや見学による調査活動も行った。「調べてみて、野々市市を誇りに思えた。今後まちづくりの企画があれば参加してみたい。調べる学習の楽しいところは、知らなかったことを知れる、行ったことのない所へ行ける、ふだん会わない人の話を聞けることだと思う。」と学習を振り返っていた。